



<研修報告>

スクールソーシャルワーク

普及促進研修会

2月8日、青森国際ホテルにおいて、スクールソーシャルワーク普及促進研修会が行われました。

本研修会は日本でのスクールソーシャルワーク第一人者、山下英三郎氏の講演と、岩手県の坂口繁治氏・北海道江別市の田村千波氏、両スクールソーシャルワーカー(以下SSWr)による実践報告により行われました。3名共、社会福祉士資格保持者です。

山下氏は、前述の通りアメリカでのスクールソーシャルワーク(以下SSW)の技法を日本へ取り入れ、今日までのSSWの普及に多大な影響を与えている方です。しかし、その実践活動の過程では『低賃金』『他のSSWrが現れない』等の問題を抱え、最初から順調ではなかったようです。

2008年、文部科学省のSSW活用事業が始まり900名のワーカーが雇用されたにも関わらず、2009年、予算が大幅に削減。配置人数も半減してしまいます。その後都道府県の事業として発展を遂げているものの、本県ではSSWrが殆ど配置されておらず、事業の認知度も高くないのが現状です。



子供の数が激減しているのに対し、問題は増加しているといえます。

社会の移り変わりにより子供の特徴が、情報ツールの発展により抱えている問題が変化してきている為に、従前のアプローチの仕方では子供のニーズとのズレが生じやすいそうです。子供の話をよく聞き、背景・理由を把握し環境を調整できるSSWrの果たす役割は大きいのではないのでしょうか。

SSWrの保持資格の約半数は、社会福祉士はじめ福祉の関連資格である事にみられるように、ソーシャルワークの技法は、従来の医学モデル・社会的要因不問の主義である学校の中に違う視点を持ち込む事ができると山下氏は論じています。

アウトリーチが必要なケースにSSWは強く、その守備範囲は不登校から災害支援まで、問題を分断されずに幅広い領域の課題の解決にあたる事が出来ると話されていました。



岩手の実践報告では、SSWr配置人数・活動内容・給与の額等の報告をしていただいています。岩手社会福祉士会の取り組みでは、SSW養成研修、ネットワーク会議、社会福祉・教育関係者を対象にした研修会等を行い『SSWはこう使えば良い』というアプローチを行い、必要な事業であること

のアピールをしている事。また、新聞に研修の様子を取り上げてもらいメディアの力を利用していると話がありました。

DV、生活保護、被災に纏わる三つの事例を紹介していただき、岩手県社会福祉士会の課題としては、待遇保証・SSWへの理解と養成・教員との連携が挙げられていました。

坂口氏の実践では主な活動の中に、関連機関との連携、パンフレット類の作成、校長・教頭研修会での実践報告等があり、その結果管理職の先生への理解が広まったといえます。事例を二題、関連機関との連携や子供の変容・成果を分かりやすく説明していただきました。

「丁寧なアセスメントが無いと違う問題が出てくる」という言葉が印象強く残っています。

江別市初のSSWrということで、手探りから会話の展望やヒントを学んだということです。

質疑応答では時間ギリギリまで活発な意見が聞かれ、福祉を学んでいる学生の声も聞くことが出来ました。

目指すところは子供の最善の利益。そのような想いを感じた研修会でありました。

参加者： 約100名
記録者《下北支部：甲田》

平成25年度 各支部活動報告

東青支部

第1回 平成25年6月14日(金)

「名刺交換会」 参加者 32名

第2回 平成25年9月21日(土)

「松丘保養園見学会」 参加者 14名

第3回 平成25年12月6日(金)

「職場紹介：津麦園」 参加者 12名

「忘年会」 参加者 14名

第4回 平成26年2月21日(金) 予定

「社会福祉士の仕事とは

～他職種から見た社会福祉士～」

東青支部では参加型の研修会を企画してきました。来年度も実のある支部会を企画したいと思いますので、どうぞたくさんの方の参加をお待ちしています(*^_^*)

中南支部

4月19日「名刺・情報交換会」(29名)

4月28日「弘前公園観桜会」(19名)

5月17日「青森県の児童・生徒の飲酒実態とその対策」 弘前学院大学
高橋和幸氏(10名)

6月21日「司法書士というお仕事」

「司法書士と社会福祉士の複数後見」
司法書士 中里元哉氏, あおい森
ねっと 中谷 恵氏(18名)

7月19日「ビアガーデン」(23名)

9月20日「福祉施設実践報告」拓心館高橋
正安氏(13名)

10月18日「日本社会福祉士会(岩手大会)
報告会&懇親会」(8名)

11月15日「超高齢・多死社会に向けた在宅
チーム医療の構築」ときわ会病
院 葛西孝幸氏(22名)

12月20日「社会的養護とソーシャルワーク」
弘前愛成園 佐藤優輝氏(17
名)

1月17日「ユース交流会」(14名)

2月21日「ばあとなあ研修・情報交換」ば
あとなあ青森 太田清道氏

3月28日「介護認定審査会・障害程度区分
審査会委員企画研修(模擬審査会)」
弘前静光園 土岐浩一郎氏

西北五支部

平成25年度は、①勉強会（支部を4エリアに分けて開催）②潜在的有資格者再就業支援研修③公開講座④西北五支部専用facebook開設・運用開始の4つの事業を行いました。

勉強会では、3人の副支部長が担当し、各管轄エリアにて開催したこともあり、普段はなかなか時間がなくて参加できなかった会員の方の参加もありました。

潜在的有資格者再就業支援研修は、参加者が少なかったものの、再就業に向けての意識が高まったとの感想も聞かれ、一定の役割は果たせたと思われます。

公開講座は、弁護士や消費生活センター、社会福祉協議会職員の方々を講師としてお招きし、『身近なお金のトラブル解決法』と題しご講演いただきました。学生の参加もあり、権利擁護について理解を深めていただく機会にもなったと思います。

西北五支部専用のfacebookは、支部会員への情報公開や会員相互の交流をおもな目的とし開設しました。

今後も、“顔の見える”活動を行っていききたいと思います。

上十三支部

上十三支部は、会員数で55名で年間4回の支部会を開催しています。

第1回は、総会と研修会を開催し、研修会では平成25年度に新体制となった青森県社会福祉士会の組織と活動方針について学びました。

第2回は、青森県発達障がい者支援センター4「ステップ」から銭谷誠氏と工藤摩世氏を招いて「発達障がい者の特性と支援について」の講義と、会員から高齢者・障がい者・医療それぞれの分野の事例を通して発達障がいについての理解を深めました。

第3回は、今年度初めての試みとして、三八支部との合同セミナーを開催しました。このセミナーは、「青森県福祉・介護人材確保緊急支援事業」を活用した事業で、国際医療福祉大学大学院准教授の東畠弘子氏を招き、「もっと身近な、社会福祉」と題し、講演及びシンポジウムを行いました。

第4回は3月に、内部研修として、ワークショップを開催する予定です。

支部会は毎回15人程度の参加となっていますが、さらに多くの会員が参加したいと思うような研修会を事務局会議や支部運営会議を通して企画していきたいと思います。

三八支部

◇支部総会 参加者24名

日時：平成25年6月7日(金)18:30～

◇第1回研修会 参加者：30名

日時：平成25年6月7日(金)19:00～

テーマ：「マスメディアから見る福祉

～現場取材を通して～」

講師：三浦典子氏（デーリー東北新聞社

報道部）

◇第2回研修会 参加者41名

日時：平成25年9月14日(土)15:30～

テーマ：「福祉職員のストレスケア」

講師：藤澤美穂氏（岩手医科大学共通教育

センター人間科学科心理学分野 助教）

終了後の懇親会参加者10名

※以上、会場は全て八戸市総合福祉会館にて

◇第3回研修会 参加者26名

日時：平成26年2月8日(土)18:00～

会場：デイサービスセンターばんちょう

テーマ「SSWにおける社会福祉士の価値」

講師：宮古道子氏（青森県社会福祉士会

常任理事）

終了後の新年会参加者14名

下北支部

■第1回青森県社会福祉士会下北支部研修会

日時：平成25年7月20日（土）

午後3～5時

会場：むつ来さまい館

加者：10名

テーマ「病院について知ろう！」

講師：むつ総合病院 堀江聖子氏・

室館洋史氏

むつリハビリテーション病院

今寺浩朗氏

○感想

医療と福祉の視点の違いや共有していききたい考えなど、MSWとして勤務する方々の苦労も聞くことができ、福祉職としての立場を改めて考えさせられました。

■【受任事業】平成25年度職員スキルアップ研修会

日時：平成25年10月18日（金）

午後6時30分～7時30分

会場：障害者支援施設 しもきた療育園

参加者：51名

テーマ「成年後見制度の基礎知識（施設職員が師っておくべき基本事項・事例等）」

講師：障害福祉サービス事業所ワークランド 茜所長 太田清道氏（青森県社会福祉士会中南支部）

社会福祉法人みちのく福祉会様より、当支部へ研修依頼がありました。

■【公開講座】第2回青森県社会福祉士会下北支部研修会

日時：平成25年11月30日（土）

午後3～5時

会場：むつ市立図書館

参加者：23名（会員14名、非会員9名）

テーマ「司法ソーシャルワーク～福祉職の方々と弁護士との連携～」

講師 法テラスむつ法律事務所

弁護士 大谷 直氏

○感想

今回の公開講座は、下北支部初の無料公開講座となりました。その甲斐あってか、23名の方々にご参加いただき、弁護士と福祉職の連携を模索するすばらしい機会となりました。

■《予定》第3回青森県社会福祉士会下北支部研修会

日時：平成26年2月22日（土）

会場：海老川コミュニティーセンター

テーマ「民生委員」

講師 川守町民生委員 菊池三千郎氏

医療ソーシャルワーカー部会

今年度当部会は、「医療ソーシャルワーカー部会」と部会名を変更し、6名の部会委員にて活動を実施してきました。

部会活動としては、7月と12月の2回研修会を開催し、本会員だけではなく、精神保健福祉士協会、医療ソーシャルワーカー協会の両会員からも参加して頂き、活動目標であった「医療機関に勤務する社会福祉士間の連携構築と交流」を積極的に実施できたように思います。

来年度も各協会と連携を図りながら、内容のある研修会を開催したいと思います。

最後に研修会開催において、不慣れな点もあり、理事や事務局に助言やご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

ソーシャルワーカーデー部会

平成25年7月21日（日）、アピオあおもりにて、「ソーシャルワーカーデー2013 IN あおもり」を開催しました。

第1部は、「ソーシャルワークとは何か？～その多様性と目指しているもの～」をテーマにシンポジウムを行い、第2部はグループに分かれ、各分野のソーシャルワーカーによる実践報告トーク、会場との意見交

換、同時に主催各団体のブースを設置し、活動PRや入会勧誘を行いました。

県内の福祉保健関係先や東青地区の高校1年生・教職員に、チラシやソーシャルワーカーのロゴが描かれたクリアファイルを配布したり、開催1週間前に、イトヨーカドー青森店前でチラシを配布したところ、当日は約80人の参加がありました。

アンケートでは、各分野の仕事の実際が聞けて良かった等、好評でした。

ユース部会

平成25年度ユース部会は新体制でスタートしました。スタッフを各支部から1名を目標に4支部から選出されたスタッフで今まで初代今栄利子部会長が築いてきた若い会員の思いを表現する場としての流れを大切にしつつ、新しいことにも挑戦しました。

活動は年3回とし、まずは今年度で4回目となる秋田との合同部会「小さな勉強会」を開催しました。ホットな話題であり、かつ内容の深い新生涯研修制度に関する理解を深めました。来年度は岩手を含めた北東北3県での開催を掲げ、県を超えた協力体制を築いていく予定です。またソーシャルワーカーではブース展開し会の紹介を行いました。TV局の取材がある中、未来ある高校生の立ち寄りもあり盛況の中終わりました。今後も社会福祉士会の入会促進に努めます。そして今年度最後はシンポジウム形式の自由な雰囲気でした。来年度も会を盛り上げます!!



「わたし、私の職場」

(社会福祉士 春藤 望)

平成23年4月から、NPO法人むつ下北子育て支援ネットワークひろばに勤務しております。最初の半年は児童デイサービスでお世話になり、就労継続支援B型事業所設立に伴い、B型事業所で勤務し早3年となりました。主な活動は農作業やリサイクル活動、手芸や陶芸などのものづくりで、毎日利用者の方々と楽しく過ごしています。最近は相談支援事業所の方や他事業所の職員と接する機会も増え、改めて「横のつながり」の大切さを実感しています。

活動をする中で心がけていることは、無理をしない・力を入れない・頑張らないことです。利用者の方々が自分のありのままを受け入れ、ゆっくりと着実に前進するために、支援する職員も背伸びをせず、互いに助け合い、補い合いながら日々過ごしていくことを目標にしています。これからも笑顔の絶えない事業所を目指して活動していきたいと思います。

＜本会寄付金に対する税額控除

制度の適用について＞

平成23年度の税制改正により、行政庁の証明を受けた公益社団法人等に対する個人の寄付金については、新たに「税額控除制度」が適用されることになりました。

本会(公益社団法人青森県社会福祉士会)では、平成26年2月3日付けで、青森県から「税額控除に係る証明」を受けました。この証明書に係わる有効期間は「平成26年2月3日から平成31年2月2日まで」の5年間となっています。

これにより、平成26年2月3日以降の本会に対する個人の寄付金については、従来の所得控除(寄付金控除)の適用を受ける

か、税額控除の適用を受けるか、いずれか有利な方を選択できるようになりました。

現在、本会では関係する規程や様式を整備しておりますので、受け入れ準備が整いましたら、制度の内容も含め、改めて皆様にお知らせいたします。

Information インフォメーション

・寄付金情報

25年10月～26年1月迄
人数 49名
金額 354,300円

・寄付金控除について

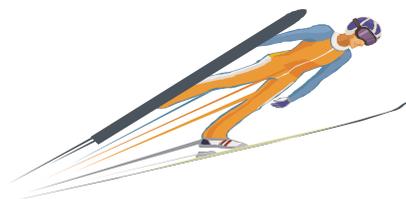
<本会寄付金に対する税額控除制度の適用について>参照

・26年度第1回総会日程について

平成26年5月25日
県民福祉プラザ（詳細は後日）

会員数情報

26年1月31日現在
会員数 534名
入会率 39.53%（全国1位）



あおもり社会福祉士会だより

発行日 2014年3月1日
発行人 奈良秀夫
編集 事務局広報部会

公益社団法人 青森県社会福祉士会

〒030-0822
青森市中央3丁目20-30
県民福祉プラザ内
TEL 017-723-2560
FAX 017-752-6877
<http://homepage2.nifty.com/aacsw/>
E-mail aacsw@nifty.com

編集後記

皆さん年度末の忙しい中、いかがお過ごしですか。今年度の後始末、来年度の準備。毎年のことですが、もっと早めにとっているのは、私だけでしょうね。反省です。来年度もご協力お願い致します。

広告を募集しています！

あおもり社会福祉士会だより（年3回発行予定）では、広告を掲載して下さる事業所や企業を募集しています。希望される事業所は事務局までお問い合わせください。

掲載料金は、このサイズで1,000円



通所介護事業所 桃源
認知症対応型共同生活介護事業所 桃源
〒030-0911
青森県青森市造道3丁目21-21
電話 017-765-6175
FAX 017-765-6176